



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

■ 第 184 号 ■

「すべての人の『人権』が 守られる社会」を目指して

ファルマ弘前薬局 主任補佐 神 千穂美

11月11日(土)に東京で行われた人権としての社会保障セミナー第3クールに参加しました。

まず、各地協から第2クールの報告がありました。私たちが北海道東北地協では宮城県における東日本大震災の復

興の現状について報告しました。他の地協ではそれぞれの地域がもつ差別などの歴史的背景や現代社会において弱者が陥っている困難など多岐にわたる内容でした。また、第2クールの一人ひとり感想も配られ、6分という短い報告時間にお



学んだことを発表する神薬剤師(右)

告時間におさまらない、個々人の感情も知ることができました。修了講演として東京大学教授の本田由紀先生より「自己責任論を乗り越えて」というお話をしていただ

地域の要求に「たえる」との重要性

本部 課長 鈴木 健仁

12月2日(土)浪岡中央公民館で行われた県連上半期経営検討会に第一部だけですが参加(ZOOM)しました。第一部では、郡山医療生協の鹿又達治専務理事を講師に迎え、郡山医療生協の経営危機の取り組みという内容でした。

経営危機に陥った理由は、経営計画のない大規模投資等の財務上の課題、前期比・予算比がわからない等の経営管理、情報開示の課題等様々ありますが、私が気になったのは、地域の医療状況や要求に対してのミスマッチがあったということです。民医連の医

楽しみながら学んだ2日間

ファルマ弘前薬局 三上 心乃音

11月24日(金)、25日(土)にサテライト開催された、第40回全国青年ジャンボリーに参加しました。7名程の班に

なりました。日本社会が抱える課題である、世代、性別、教育、仕事などあらゆる格差について、漠然とわかったつもりになっていたり部分をデータで示して解説してくださいま

きました。問題が山積み過ぎて気が遠くなるような内容でしたが、政府への責任の追求や柔軟な組織・団体・個人の重要性について学び、「すべての人の『人権』が守られる社会」を目指して行きたいと思いま

半年間続いた社会保障セミナーですが、今回の第3クールで修了となりました。最後に設定した「多職種連携で医療の質を高める」という目標を胸に頑張ります。

療機関として、地域の要求に「たえる」とが重要だと思えます。地域との関わりをもち、地域の要求に「たえる」との重要性を改めて学んだ講義となりました。

午後には記念講演を聴きました。講師はカクワカ広島の高橋悠太さんです。カクワカ広島とは、核兵器廃絶の一步として広島にゆかりのある国会議員に会いに行き、核兵器禁止条約への考えを聞く活動をしている団体です。高橋さんは、先行世代の決定で影響を受ける

のは若い世代だ、だからこそ自分たちの力で社会を変え、作っていかねければいけないとおっしゃっていました。広島・長崎の経験を無駄にせず、これからはいけないという決意をもって活動していこうと思えました。

2日目はLGBTQについて講義に参加しました。LGBTQの割合は日本で行われた最新の調査(※)で11人に1人で、日本の苗字ランキング上位7位をすべて足した割合よりも多いらしく、とても驚きました。目に見えていないだけで性の問題を抱えている人が周りにもいるのかもしれないと思えました。LGBTQについて触れ

てみて、完璧に理解すること以上に大事なのは、自分の在り方に悩んでいる人に寄り添う姿勢を見せることなのだと感じました。



ジャンボリーに参加したみんなで集合写真



グループディスカッションで発言している工藤事務長(奥)

写真紹介 12/5 相馬地区老人クラブ連合会へ出前講座

12月5日(火)相馬地区老人クラブ連合会主催の出前講座が「薬の飲み方と飲み合わせ」をテーマに弘前市中央公民館相馬館で開催されました。講師はファルマ弘前薬局の小野薬剤師です。参加者は18名で、「かぜ薬と栄養ドリンクは飲んで大丈夫なのか」「睡眠薬を2錠服用しても大丈夫か」などの質問がありました。



初めての出前講座で堂々と話す小野薬剤師

12/11 弘前地区女性会へ出前講座

12月11日(月)弘前地区女性会主催の出前講座が「眠くなる話、もう眠剤はいらない」をテーマに弘前文化センターで開催されました。講師はファルマ浪岡薬局の高橋薬局長で、参加者は62名でした。皆さんメモを取りながら興味をもって講義を聴いていました。



62人の参加者が集まり、熱心に耳を傾けていました

募金箱設置

今回の能登半島地震の義援金の募金箱を各薬局の待合室に設置しました。温かいご協力をありがとうございます。写真はファルマ 一ツ谷薬局の手作りの募金箱です。



一ツ谷薬局では手作りの募金箱を待合室に設置しました！



閉会の挨拶をしている崎野専務

「コロナ禍」により非常に複雑になっており、財務三表などの経営資料を大局的に見る力をつけることは、さることながら、経営の実態を適切に伝え、「全職員参加型の経営実践」への牽引力が求められている事を強く感じ、今一度気を引き締め取り組んでいきたいと思えます。

「全職員参加の経営」の実践のために

ファルマ弘前薬局 課長補佐 葛西 祐二

1月27日(土) 浪岡中央公民館で開催された、「民医連統一会計基準推進士フォローアップ講座」に参加しました。医療機関では、診療報酬が増えない中、急激な物価高が重なり、どの医療機関も非常に厳しい経営に陥っています。経営

改善は喫緊の課題となっており、民医連統一会計基準推進士に活躍が求められている中、改めて経営資料の見方や経営分析などについて、協働公認会計士事務所公認会計士の千葉啓氏を講師に迎え、学習する機会となりました。今回の講座を受け、経営の実態は「コロナ禍」により非常に複雑になっており、財務三表などの経営資料を大局的に見る力をつけることは、さることながら、経営の実態を適切に伝え、「全職員参加型の経営実践」を実践していきます。

統一会計基準推進士合格

ファルマから全日本民医連統一会計基準推進士養成講座を受講していた二人がこの度合格しました。二人に感想等を伺いました。

経営を守るといふことは並大抵のことではありません。推進士として、経営をどう考え、どう守っていくのかしっかりと取り組んでいきたいと思えます。「全職員参加型の経営」を実践していきます。

12年前に泉連版を取得し、今回改めて全日本版を取得することができ、学び



見事に合格された阿部次長(右)と工藤主任

直しができました。経営状況をどのように分析するか、伝えるかはこれからも継続し学び、そして実践していきます。(本部 次長 阿部 千佳子)

新入職員紹介



黒石薬局 古川 史絵

11月20日より黒石薬局で勤務しております。古川史絵と申します。前職は放課後児童支援員として児童センターに勤めておりました。調剤薬局での仕事はこれま

でも経験がなく、薬局の丁寧な対応に感心を受けたことで調剤事務の仕事に興味をもつようになり志望しました。覚えることが多いため、大変ではありますが黒石薬局の皆さんに丁寧に教えていただきながら勤務しております。一つ一つ確実に仕事を覚えたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

写真紹介

11/26 南田中ふれあいの場 実行委員会へ出前講座

11月26日(日)南田中ふれあいセンターで南田中ふれあいの場実行委員会主催の出前講座が開催されました。黒石薬局の小田桐徳子薬剤師が講師となり「薬の正しい飲み方、インフルエンザ、コロナについて」をテーマに話しました。参加者は15名で、質問も多くあり、アンケート結果も回答者全員が「とても役にたった」と好評でした。



素敵な笑顔でわかりやすく話をする小田桐薬剤師

12/7 津軽保健生協 社会保障平和委員会へ出前講座

12月7日(木)津軽保健生協社会保障平和委員会主催の出前講座が「2024年度介護保険法改正について」をテーマに津軽保健生協会館で開催されました。講師は居宅介護支援事業所ファルマの伊勢主任で、参加者は16名でした。皆様の関心の高さを感じたので、今後も制度を活用して老後の生活が少しでも安心できるよう情報提供をしていきます。



介護保険について詳しくお話ししました

12/14 黒石支部石名坂班へ出前講座

12月14日(木)黒石支部石名坂班主催の出前講座が「骨密度測定」をテーマに参加者のご自宅で開催されました。講師は黒石薬局の吉田薬剤師です。参加者は10名で、骨密度測定をしながら、「骨の薬は食後ではダメなのか」「食前だと忘れるので食後に飲んでもいいのか」などの質問を受けました。



アットホームな雰囲気の中、質問に答えている吉田薬剤師

新年互例会

1月4日(木)ファルマ弘前薬局をメイン会場に各職場をZOOMで繋ぎ、新年互例会を開催し、石川社長より挨拶をいただきました。今年は医療・介護・福祉のトリプル改定があり、今まで以上に職員一丸となり取り組んでいかなければなりません。地域の医療を守るために力を合わせて頑張りましょう。



ファルマ弘前薬局の会議室とZOOMを繋いで石川社長のお話を聴きました

2才のわたし

ファルマ弘前薬局 薬剤師 小田桐 由衣

この写真はポーズの通り私が2歳ぐらいの時のものです。

この頃の出来事で印象的だったものを母に聞いてみたところ、健生病院を受診した際に待合室に置いてある『くまのプーさん』の絵本を持って帰りたいと泣いたことがあるそうです。

看護師さんが泣いている私を見かねたのか本をご厚意で譲ってくれました。くださった本は今でも大切に本棚にしまっています。それから20数年経ち健生病院さんの門前で働けることになるとは想像すらしていませんでした。

健生病院さん、あの時は本当にありがとうございました。そしてすみませんでした。

これからもよろしくお祈りします。



実際の絵本



ひな人形の前ではいチーズ！